

「YOKOHAMA 千年の杜プロジェクト」 新城工場で 12,000 本を植樹

横浜ゴム（株）（社長:南雲忠信）は2009年5月23日（土）、愛知県新城市にある新城工場で「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトの植樹活動を行った。

自前の杜づくりに向けて、植樹活動全般を指導する宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）の調査に基づき、どんぐりの採取から苗木の確保・育成などの準備を従業員が主体となって進めてきた。当日は穂積亮次新城市長をはじめ地域住民の皆さま、横浜ゴム従業員とその家族などおよそ1,000名が参加。当社社長の南雲忠信の挨拶に続き、宮脇氏の講演と植樹指導を行い、アラカシ、タブノキ、モチノキ、サカキなど土地本来の樹種44種類、およそ12,000本を植樹した。

「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトは地球温暖化防止を目的に、創立100周年を迎える2017年までに国内7生産拠点、海外11生産拠点に約50万本の苗木を植えるプロジェクト。国内は今回の新城工場で全生産拠点の第1期植樹を完了し、順次第2期植樹を開始している。海外はヨコハマタイヤ・フィリピンINC、杭州横浜輪胎有限公司、ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング（タイ）、ヨコハマタイヤコーポレーション（北米）の4拠点で植樹を完了。現在までに国内外あわせて95,000本を植樹した。今年9月にはタイのヨコハマラバー（タイランド）カンパニーLTD.で植樹を行う予定。



植樹の様子



参加者全員による集合写真



横浜ゴムでは、横浜ゴムグループで取り組む多様な環境貢献活動を「EcoMOTION」と名付けています。

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株） 広報部 担当：入江
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570